



CSキャラクター
「わさびくん」

鹿野小だより

周南市立鹿野小学校

周南市鹿野上 3054 番地 1

《ホームページアドレス》

<https://fa.fureai-cloud.jp/kanosho>

鹿野小ホームページ
QRコード



いま ここ じぶん その合計が じぶんの一生

これは、詩人 相田みつをさんの言葉です。コロナ禍が始まった令和元年、当時勤務していた学校の校長室の前に掲示してあった12月のカレンダーに書かれていて、とても励まされた言葉です。

「今、ここにいる自分がしていること、その積み重ねが、自分の一生となっていく。だから今、この瞬間を大切に生きなくてはいけない。」

という意味だと思います。また、次のように捉えることもできます。

「今、ここにいる自分は、これまでの積み重ねの姿である。つまり、上手くいったこといかなかったこと全てのおかげで今の自分がある。どれもが大切であり、無駄なことなど一つもない。」

いよいよ12月です。今なお続くコロナ禍で、できることを、できるように、できるだけ取り組んできたこの1年も残り1か月となりました。子どもたちがこの1年間の学校や家庭での生活を振り返れば、上手くいったこといかなかったこと、嬉しかったこと悲しかったことなど様々なことがあったと思います。それら全てのおかげで今の大切な自分がいます。そして、今、ここにいる自分が新たな人生を切り拓いています。

この1年間の成長を子どもたちと振り返り、これまでの自分も、今この瞬間の自分も大切にできるよう子どもたちを支援していきたいと思っています。

- 11月11、12日に「秋の鹿野 ONE DAY ツアー」が行われ、3家族が学校の見学に来られました。きれいな校舎、充実した施設、のびのびと活動している子どもたち、中学生とついでに生活できる環境にみなさん興味をもっておられました。



- 11月15日に、イラストレーターの尾崎真吾さんが来校され、子どもたちにイラストレーターになるまでのお話や、イラストの描き方を指導してくださいました。「夢に向かって好きなことをやり続けて夢を叶えてほしい」と、力強いメッセージをいただきました。



- 11月9日に、1、2年生が遠足で鹿野のすばらしい秋の自然を満喫しました。また、3～5年生は社会見学で、(株)トクヤマ、徳山動物園、大島干潟を見学し、周南市の産業、観光、自然を学習しました。さらに、17、18日には、5、6年生が修学旅行で山口県に学びを広げ、たくさんのすてきな思い出をつくりました。コロナ禍は続きますが、こうしてたくさんの貴重な体験ができてほっとしています。

その他、11月にはたくさんの行事が行われました。HPに紹介していますのでぜひご覧ください。

- ◎ 11月25日(金)の17:50から「鹿野小学校同窓会」を行います。大スクリーンにスライドショー(卒業写真・KRY 蔵出しフィルム・人文字空撮ビデオ・150周年記念事業)を上映します。最後にシークレットイベントが行われますのでぜひお楽しみください。